

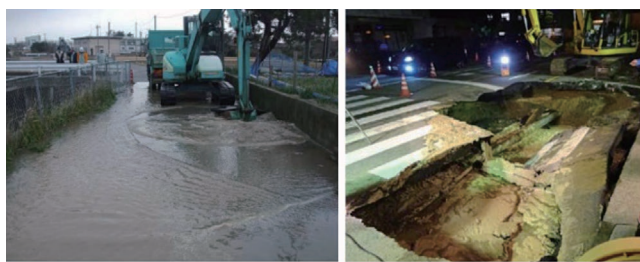
押し込みカメラ（アジリオス）による 圧送管路内調査技術



1. はじめに

圧送管路は構造上技術的に調査困難な箇所が多く、効果的な調査方法が確立していないのが現状である。ひとつの方法として空気弁周辺の気相部を腐食危険箇所とみなして調査を実施する方法がある。本内容は首振り式押し込みカメラ（アジリオス）を用いて圧送管の調査手法の有効性を示すものである。

内面モルタルライニングのダクトイール鉄管の圧送管路では、硫化水素に起因する腐食事例が多く報告されている（写真-1）。



出典：国土交通省
写真-1 道路陥没状況

しかし、圧送管路は構造上技術的に調査困難な箇所が多く、効果的な調査方法が確立していないのが現状である。1つの方法として空気弁周辺の気相部を腐食危険箇所とみなして調査を実施する方法がある。本内

容は首振り式押し込みカメラ「アジリオス」を用いて圧送管の調査手法の例を紹介する。

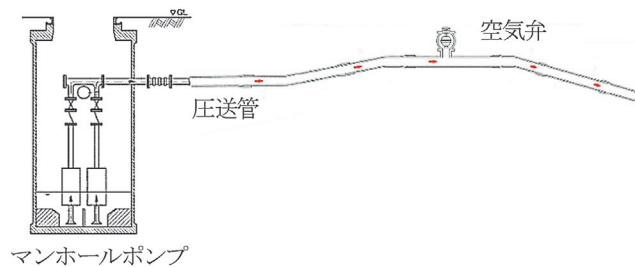


図-1 圧送管路の構造

2. 圧送管

2-1 特性について

圧送管は基本的にマンホールポンプやポンプ室の先に敷設されている。小口径から中口径と口径は様々である（図-1）。

圧送管の長所と短所を以下に示す。

【長所】

- ① 管路や河川を横断するなどレイアウトが自由に配管を敷設できる
- ② 口径が小さく埋設深を浅くできるため建設費が安くなる
- ③ 圧送に耐えうる継手や管体を使うので不明水の心配がない

〈機関誌記事・論文の検索〉 ホームページ文献検索システムの技術区分検索で記事・論文をダウンロードできます。

- 推進（極小口径） 推進（小口径） 推進（大口径） HDD（誘導式水平ドリル） 管更生（小口径） 管更生（大口径） 既設管改築 位置検知・資材 地下探査・調査
 管内検査・診断・調査・清掃 耐震・長寿命化 理論解析・計測 ソーシャルコスト 海外情報・環境保全 立坑・マンホール その他 設計・調査 資産管理